

佐渡市立両津小学校 アスベスト健康対策等 専門委員会ニュース

2010(平成22)年7月16日発行 **第4号**
Index 1. 第8回専門委員会の内容について
(高校の健康診断で撮影した胸部レントゲン写真について)
2. 健康リスク・心理相談の日程について
3. アスベスト健康対策Q&A

発行：佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門委員会
事務局：佐渡市教育委員会学校教育課 学事指導係 〒952-8501 佐渡市両津湊 198 番地
Tel. 0259-23-4894 Fax. 0259-23-4900 E-mail k-gakko@city.sado.niigata.jp
URL <http://sougo.city.sado.niigata.jp/kyouiku/gakkou/osirase/20081105.jsp>
ご不明な点や、ご意見・ご要望等がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

1. 第8回専門委員会の内容について

去る6月19日(土)に開催しました、専門委員会の概要は次のとおりです。

高校入学時の健康診断で撮影する胸部レントゲン写真について、希望する方には、専門委員会のアスベスト関連疾患の専門医が診断(読影)します。その後その写真は市が責任を持って保管します。

また、当時の教職員の方で希望する場合は、健康診断(人間ドック)で撮影した胸部レントゲン写真について診断します。

該当する方には、関係文書を同封しますのでお申し込みください。

2. 健康リスク・心理相談の日程について

今年度の相談日をご案内します。申込書を送付しますのでご利用ください。

開催日	開催時間	相談場所	健康リスク 相談担当	心理相談 担当	申し込み期限
平成22年 8月28日(土)	午後1時 ～5時	両津地区 公民館2階	名取委員	永井委員	平成22年 8月18日(水)
平成23年 1月29日(土)	午後1時 ～5時	両津地区 公民館2階	土屋委員	永井委員	平成23年 1月19日(水)

3. アスベスト健康対策Q&A

胸部レントゲン写真の保管等についてQ&A形式で掲載します。(文責：名取委員)

Q1 石綿(アスベスト)の健康影響が現れるのは、何時からでしょうか？

A1 平成18(2006)年に両津小で石綿飛散事故が生じ、今年は4年目にあたる年です。石綿の健康影響が生じるのは、潜伏期があるため最低でも10年後からとされており、石綿吸入後平均40数年±(プラスマイナス)20年の場合が多いとされています。工場周囲の石綿飛散による中皮腫の発症が起きている尼崎市の住民の中皮腫の発症者は平成22(2010)年現在累積で221名となっていますが、発症年齢が一番低かった方は27歳で発症年代の中央値は60～69歳となっています。

尼崎市では数年から十年単位で居住されて石綿を吸入された方が多かったのに対し、両津小の石綿曝露はわずか1日で少量でしたから、尼崎市と比べると極めて低い健康影響であることが専門委員会の調査で判明しています。しかしながらゼロとは言えない結果であったことを考慮し、佐渡市立アスベスト健康対策専門委員会では、両津小での石綿曝露20年後となる2026年から希望者に佐渡市による健康診断を開始する事にしています。

Q 2 飛散事故からまだ4年なのに、胸部レントゲン写真を読影・保管するのは何故ですか？

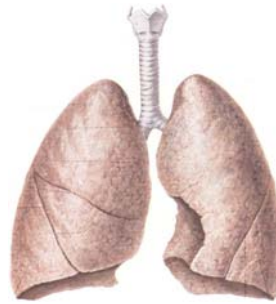
A 2 2026年の健康診断開始以降の石綿関連疾患の診断で、胸部レントゲン写真が一定の役割を果たしていると推定されますが、微細な変化のチェックには過去のレントゲン写真と2026年の時期のレントゲン写真を比較する比較読影という方法をとる事が基本とされています。

当時小学校6年生だった方が高校入学時の本年は、潜伏期から石綿関連疾患が生じる時期ではありません。しかし現時点で正常なら正常で、軽微でも異常があるなら異常として将来のために胸部レントゲン写真を保管しておきますと、2026年以降の健診の読影の比較に使用できます。このため全員の方が撮影される高校入学時のレントゲン写真の保管をお願いする次第です。

検査機関では5年で保管義務がなくなり、廃棄される場合が多いとされています。お預かりしたレントゲン写真は、佐渡市役所の専用棚に生涯保管の予定です。



A 高校一年時撮影（正常、軽微な異常）



B 将来(2026年)以降の撮影

* AとBを比較読影し将来の判定に使用できます。(高校時撮影したレントゲンを保管し、将来のレントゲンとの比較読影により判断いたします。)

Q 3 今回レントゲン写真はどのように読影され、どのように結果が通知されるのですか？

A 3 高校生の健康診断のレントゲン写真は肺結核等のチェック等が主な目的のため、乳幼児でのお気づきにならない程度の肺炎の跡、「肺のう胞」などの軽微な変化があった場合では、「結果 正常」として皆様に通知が送られた場合も多いと思います。

今回の読影では、複数のアスベスト専門医がレントゲン写真を詳細に読影し、肺炎の跡、「肺のう胞」などの軽微な変化もご報告させて頂く予定ですので、学校から「正常」との結果をもらった方の一部に、「異常あり」との読影結果が届く場合がある点をご理解頂きたいと思います。

高校の健康診断で使用されるレントゲン写真はサイズの小さい間接撮影フィルムで、病院等で使用される直接撮影フィルムと比して微細な変化が判明しにくい場合もある点はご了承ください。

読影等に関して不明な点がございましたら、事務局にご質問、ご相談ください。読影結果等に関しては健康リスク相談・心理相談もご活用ください。

(お願い)

社会情勢や医療の発展に応じた対策を講じる必要から、将来に渡り、専門委員会ニュース発行時などに合わせて現住所(あて先)の確認を行ってまいります。

引越し等であて先が変更になったときには、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。(特に島外へ転出した方々についてはよろしく願いいたします。)